

開陽 330。



目次

- 2-3 令和6年度能登半島地震におけるDMATの活動について
- 4 病院のいちにち
- 5 第2回「せん妄って聞いたことありますか？」
- 6 新任医師紹介
 - 泌尿器科外来について
 - 病院の雑学クイズ
 - 編集後記

DMAT の活動について

DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」のことです。

災害派遣医療チーム、Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって「DMAT（ディーマット）」と呼びます。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に派遣されます。

当院のDMATチームは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、石川県からの出動要請を受け、石川県七尾市を拠点として1/9～1/14まで被災地活動を行ないました。具体的にどのような活動をしてきたのか、ご報告します。



構成メンバー



医師 成澤研一郎
看護師 遠山梨絵 加藤一樹 佐賀嬉幸
業務調整員 野村健二 熊倉竜司

スケジュール

- 1/1 能登半島地震発生
- 1/7 DMAT 派遣要請
厚生労働省 DMAT 事務局より北海道に対して
DMAT 派遣要請あり
- 1/8 追加派遣要請
- 1/9 当院 DMAT チーム出動決定。

この日の朝に DAMT チームで会議を行い、
出動が決定しました。

午前中に出動準備を整え、その日の東京便で羽田
空港へ。乗り継いでその日の夜に富山空港に到
着。出動決定からその日の夜には富山県入りする
というスピード感でした。

- 1/10 活動開始
- 1/14 活動終了

活動内容 ①

石川県七尾市にある公立能登総合病院内に設置された「能登医療圏活動拠点本部」で活動を行いました。

そこで当チームに割り当てられた役割は「物資支援班」。主な業務は「物資ニーズの吸い上げ」「発注と輸送方法の調整」「活動拠点本部内の物資管理」。後方支援を中心に行いました。



物資ニーズの把握と発注は主に業務調整員2名が対応。活動拠点内の物資管理は看護師3名が対応しました。

成澤医師は物資支援班のリーダーとして班の方針の決定、活動拠点本部全体会議やリーダー会議への出席、本部長や副本部長・他部署との交渉・調整を行いました。

活動内容 ②

物資支援班には地域の各医療機関、避難所や介護施設で必要としている物資の要望が入ります。医療機関からの必要物資はEMIS(イーミス)と呼ばれる広域災害救急医療情報システムを用いて確認を行います。避難所や介護施設で必要な物資は他の班(日赤救護班や情報分析班)から要望が入ります。それらの物資を石川県庁へ発注し、必要とする場所への輸送方法を調整する業務を行いました。切迫している状況であったため、臨機応変な対応が求められました。医療系の資機材はもちろんのこと、段ボールベッドや灯油、電子レンジなど、様々な物のニーズがありました。

現地では情報が錯綜していたため「何がどこにある」という情報がうまく共有できていませんでした。「物自体はあるのに必要としている場所に届かない」ということが多々あり、情報管理の課題と重要性を再認識しました。



DMAT 隊より皆さんへ

今回 DMAT 隊が出動したことで整形外科が一時休診となる等、地域住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。院内スタッフにも突然の不在をカバーしていただきました。DMAT 隊の活動は地域の皆様・院内スタッフの理解や協力の上で成り立っております。今後も感謝の気持ちを忘れずに活動していきたいと思っております。

成澤医師より皆さんへ

航路往復含めて5泊6日、七尾市の DMAT 活動拠点本部での任務でした。DMAT 活動は一旦落ち着きましたが、輪島、珠洲等の被災が激しい地区は現状でもまだ生活支援が必要な状況です。当地域でも十分起こりうる災害ですので、事前に避難所やハザードマップを確認しておきましょう。

病院の いちにち

第5回 医事課 遊佐 文哉



「病院のいちにち」第5回は、病院の裏方、医事課職員のいちにちを取り上げます。医事課では、日々ここには書ききれないほど多岐にわたる業務を行っています。



1

8:30
始業
会計準備
集計作業

自動精算機の電源を入れ、会計窓口用のおつりを用意します。

請求業務

法人宛の請求書を作成します。
検診やドックの受診料は、会社宛てに請求する場合があります。宛名などに間違いがないかチェックし、台帳に記録することで入金管理をしています。およそ2か月以内に入金されます。

救急対応

前日の患者数を科別に集計します。このデータは月単位で再集計し、病院経営で用いる各種資料の基礎データとして使用されています。



!

12:00
お昼は交代です。
いつでも緊急の連絡が取れる体制を維持しています。



救急搬送時の「第一報」が入ることがあります。第一報を受けた後はすぐに第二報の繋ぎ先(対応する診療科)の確認、患者IDの特定を行い、第二報がスムーズに処理できる体制を整備します。
救急車が到着したら、患者さんをスムーズに治療室まで運べるようエレベーターの手配などを行います。

各種対応

院内スタッフから寄せられる各種依頼に対応します。
電子カルテの予約枠や各種テンプレートの変更、院内掲示物の作成など、業務は多岐に渡ります。

16:30
会計締め

17:15
業務終了

自動精算機のお金を回収し、翌日分のおつりを補充します。なお、補充が足りずおつりが切れると精算機は止まってしまう…

患者さんの目に触れる機会は少ないかと思いますが、他機関からの依頼に対応したりと、実はある種窓口的な業務も行ってまいります。
病院事務にはまだ管理課が控えており、今回紹介できたのはその一部です。
今後も当院職員の仕事を様々な角度から紹介して参ります。

次回も、ご期待ください!



「せん妄^{もう}」って聞いたことありますか？



第2回

せん妄対策について

前はせん妄が起りやすい要因、引き金、悪化や蔓延化につながるものについてお伝えしました。対策としては、

- ① 素因のある患者さんを抽出し、
(高齢・認知症・脳梗塞などの既往)
- ② 引き金になるものを軽減し、
(疾患・手術・薬剤)
- ③ 悪化や蔓延化につながるものを最小限にする、
(身体的苦痛・不眠・環境の変化)

となります。

では、これらについて具体的な対策についてお伝えします。

患者さんとご家族、私たち医療スタッフにできることにそれぞれ分けて整理していきます。

患者さん、ご家族にお願いすること

- ◆ 普段使い慣れた日用品を持ってきてもらう
 - ・時計 ・カレンダー
 - ・老眼鏡 ・かかとのある運動靴
 - ・新聞・本・ラジオなど普段の環境に近づけ、日時などを把握しやすくすることで、入院中の環境でも安心感を得やすくなります。
- ◆ 家族の写真を用意してもらう
- ◆ 面会・付き添いを無理のない範囲でお願いする
- ◆ 大部屋よりも個室にし、普段の環境に近づけ患者さんのペースで過ごせるようにする
- ◆ カフェインなどを控え、寝る前に多くの水分をとらないようにする



医療スタッフにできること

- ◆ 生活リズムを整える
 - ・ベッドを窓際に置き、カーテンを開けることで日光を取り込み部屋を明るくする
 - ・日中は軽い運動を進め、リハビリなどを行う
 - ・夜間の照明は薄暗くする(暗くし過ぎると転倒の危険が高まるので注意)
 - ・夜間の処置や点滴はなるべく避け、眠りを妨げないようにする
- ◆ 不眠にならないよう対策を行う
- ◆ 便秘を避ける
- ◆ 点滴や尿道カテーテルなどのチューブ類はなるべくまとめたりして視界に入らないようにする
- ◆ 食事の好みを確認し、食べやすい工夫をする
- ◆ 痛みなどの苦痛に早めに対処する

上に挙げた以外にも、まだまだできることはたくさんあります。入院の荷物が多くなってしまいますが、入院生活中は慣れない環境で過ごすこととなります。普段見慣れたもの、家族の顔、日光などに触れることで、少しでも患者さんに安心していただける環境に近づけていくことが、せん妄予防にはとても重要です。

5/11 看護の日に
(看護の日は5/12)

東武でイベントを
開催します

ぜひお立ち寄りください！



日本看護協会
「看護の日」キャラクター
かんだちゃん 北海道 Ver.

次回は、せん妄の治療についてお伝えします。

新しい医師が着任しました。


 おの まさと
 外科 小野 雅人 先生

出身大学：札幌医科大学

前任地：王子総合病院(苫小牧)

卒業年：平成 22 年

趣味：M(麻雀)リーグ鑑賞

ひとこと：「外科診療において、地域の皆様の支えになれるよう精一杯頑張ります。
どうぞよろしく申し上げます」

退任された医師より、コメントをいただいております。

外科 上村志臣 先生

「1年という短い期間でしたが、ありがとうございました。少しでもお役に立つことができたならば幸いです。今後もより良い医療を提供できるように精進いたします」

内科 佐々木礼奈 先生

「町立中標津病院で1年間勤務をいたしました。まだまだ駆け出しですが、微力ながら、皆さまが元気に生活できる手助けができていれば幸いです。今後も変わらず、皆さまの健康を切に願っております」

泌尿器科外来は、完全予約制になりました。

泌尿器科常勤医の退職に伴い、当院泌尿器科は令和6年4月より完全予約制となりました。

初診については、診療情報提供書をお持ちの方のみ受け入れとしております。

受診に際して問い合わせの場合には、泌尿器科外来までお声がけください。

		火	水	木
第1週	午前			対面
	午後		対面	対面
第2週	午前			
	午後	オンライン	オンライン	
第3週	午前			対面
	午後		対面	対面
第4週	午前			
	午後	オンライン	オンライン	

Q 町外から受診している 妊婦さんは何割でしょうか？

A 約5割です

(令和4年度の統計より)

当院の産婦人科は、北海道から「地域周産期母子医療センター」の指定を受けています。

年間の分娩件数は減少傾向にありますが、町外からの妊婦さんの受け入れの割合はここ数年変わらず約5割で推移しています。ちなみに、全診療科で見ると町外からの患者さんは約3割です。

根室北部地方の医療において、当院が一定の役割を果たしていることが見て取れます。

病院の雑学クイズ

Hospital Question

第IV問

編集委員後記

地域医療相談係

令和6年度の初月号です。春と言えば始まりの季節ということで、当院も新人の入職や診療体制の変更など、何かと慌ただしくなっております。今後も新しい情報を皆さんに発信してまいります。

発行者

町立中標津病院
〒086-1110
北海道標津郡中標津町
西10条南9丁目1番地1
TEL：0153-72-8200
FAX：0153-73-5398